



一冊の雑誌からジブリは始まった

# アニメ・ジブリ展

© 1984 Studio Ghibli · H

**4月8日金 ▶ 7月10日日** ※水曜休館日  
[ただし、5月4日(水・祝)は開館。5月6日(金)は休館。]

**福岡アジア美術館 7階 企画ギャラリー A・B・C**  
(福岡市博多区下川端町 3-1 リバレインセンタービル 7・8 階)

9:30~18:00(金曜・土曜は20:00まで) ※最終入場は30分前まで

[主催] FBS 福岡放送、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス  
 [企画制作] ニュートラルコーポレーション  
 [企画協力] スタジオジブリ・三鷹の森ジブリ美術館

〈問合せ〉アニメ・ジブリ展 福岡展実行委員会(西日本新聞イベントサービス内) TEL.092-711-5491(平日9:30~17:30)

[協力] 徳間書店、マクセル、特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構、福岡アジア美術館  
 [後援] 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道、九州旅客鉄道、KKT 熊本県民テレビ、NIB 長崎国際テレビ、KYT 鹿児島読売テレビ、KRY 山口放送

展示会の内容や  
 チケット情報など  
 詳しくは  
 公式サイトにて



一冊の雑誌からジブリは始まった

# アニメ・ジブリ展

© 1986 Studio Ghibli

**4月8日金 ▶ 7月10日日** ※水曜休館日  
[ただし、5月4日(水・祝)は開館。5月6日(金)は休館。]

**福岡アジア美術館 7階 企画ギャラリー A・B・C**  
(福岡市博多区下川端町 3-1 リバレインセンタービル 7・8 階)

9:30~18:00(金曜・土曜は20:00まで) ※最終入場は30分前まで

[主催] FBS 福岡放送、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス  
 [企画制作] ニュートラルコーポレーション  
 [企画協力] スタジオジブリ・三鷹の森ジブリ美術館

〈問合せ〉アニメ・ジブリ展 福岡展実行委員会(西日本新聞イベントサービス内) TEL.092-711-5491(平日9:30~17:30)

[協力] 徳間書店、マクセル、特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構、福岡アジア美術館  
 [後援] 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道、九州旅客鉄道、KKT 熊本県民テレビ、NIB 長崎国際テレビ、KYT 鹿児島読売テレビ、KRY 山口放送

展示会の内容や  
 チケット情報など  
 詳しくは  
 公式サイトにて



# アニメージュとジブリ展

一冊の雑誌からジブリは始まった

本展覧会は雑誌「アニメージュ」の1978年創刊当時から80年代に焦点を当てました。まだアニメという言葉さえ広がっていない時代から、1979年に登場した「機動戦士ガンダム」の大ヒットによりアニメが大きく飛躍するブーム期。そして、鈴木敏夫が後のジブリにつながる高畑勲・宮崎駿両監督を見出し、「風の谷のナウシカ」「天空の城ラピュタ」の映画製作に傾倒するまでの道のりを紹介します。



## アニメージュとは・・・

1978年5月26日に創刊した日本初の本格的商業アニメ雑誌・月刊「アニメージュ」(徳間書店)。アニメ雑誌のパイオニアとして、それまで作品の裏方として決して脚光を浴びることのなかった業界内部、作家や制作に関わる人をクローズアップし、場面写真や制作の舞台裏をみることができるインタビュー記事を掲載するなどファンからのニーズに応えてきました。「風の谷のナウシカ」のアニメーション映画化でスタジオジブリ設立のきっかけとなった本誌は、2022年に創刊44周年を迎える今もアニメとファンをつなぐ橋渡し役です。



「風の谷のナウシカ」セル画と色指定 © 1984 Studio Ghibli・H 「天空の城ラピュタ」ジオラマ

**第I章** アニメージュ誕生！  
「テレビまんが」からアニメブームへ、日本初の商業アニメ専門誌「アニメージュ」誕生。

**第II章** アニメージュは私たちにすべてを教えてくれた！  
ガンダムが変えた歴史。当時の制作資料で振り返ります。

**第III章** 加速するアニメブーム  
ガンダムによって加速したアニメブームは、雑誌の枠を超えた拡大を続ける。

**第IV章** ナウシカへの道  
今まで紹介されることの少なかった、貴重なレイアウトや原画、美術ボードなどの資料と共に一冊の雑誌から生まれた映画「風の谷のナウシカ」が誕生するまでの道のりを振り返ります。



エントランス(東京会場)

# ココが凄いよ！アニメージュとジブリ展

必見！フотスポットも多数！！

**Point 1** 本展で『初公開』となる貴重な資料やセル画。立体造作を含む、約200点以上で構成

- 本邦初公開！「風の谷のナウシカ」のセル画や企画書など貴重な資料を展示！
- 史上初！造形家・竹谷隆之氏による「風使いの腐海装束」、「巨神兵のジオラマ」の再現！
- 新発見資料！宮崎駿が描き、実際に模型が制作されていた「ワンダー・シップ号」の公開！

本展の見どころ  
2本柱



「風の谷のナウシカ」貴重な企画書・宣伝物など 「風の谷のナウシカ」初公開となるセル画の数々 「風の谷のナウシカ」秋田県大館市にある映画館「御成座」の劇場用・巨大看板(複製版) 「風の谷のナウシカ」巨神兵のジオラマ 「天空の城ラピュタ」ジオラマとワンダー・シップ号模型 造形家・竹谷隆之氏が監修した「風の谷のナウシカ」風使いの腐海装束を再現

## 「アニメージュとジブリ展」オリジナルグッズ

初登場！「風の谷のナウシカ」デザインのタペストリーや青色のテトのぬいぐるみなど約150点の本展オリジナルグッズ

ぬいぐるみ(左・テト11,000円/右・王蟲14,300円)  
構想段階の青いテトと細部までこだわってつくられた王蟲のぬいぐるみ。それぞれ限定BOX入り

ゴブラン織りタペストリー 16,500円  
「風の谷のナウシカ」のオープニングデザインのゴブラン織りタペストリー(サイズ約)W136cm×H82cm

スクエア缶バッジ 各440円  
アニメージュの表紙をそのままスクエア型の缶バッジに

©1984 Studio Ghibli・H ©1986 Studio Ghibli ©1988 Studio Ghibli ©1989角野栄子・Studio Ghibli・N

**Point 2** 本展で初登場！ココでしか買えない！！超レアなオリジナルグッズが多数

- 前代未聞！「風の谷のナウシカ」本展オリジナルグッズが多数登場！
- 激レア！「ジブリ作品 × アニメージュ付録」の完全復刻版を販売！

## 懐かしのアニメージュ付録の復刻商品が続々登場

三鷹の森ジブリ美術館アーカイブコレクション × アニメージュとジブリ展オリジナルグッズ

トランプ・クリアファイルセット 全4種各1,100円

アニメージュ 1984年4月号の付録のトランプの復刻と、風の谷のナウシカの表紙デザインのクリアファイルのセット

アニメージュ 1986年9月号の付録のトランプの復刻と、天空の城ラピュタの表紙デザインのクリアファイルのセット

アニメージュ 1988年1月号の付録のトランプの復刻と、となりのトトロの表紙デザインのクリアファイルのセット

©1984 Studio Ghibli・H ©1986 Studio Ghibli ©1988 Studio Ghibli ©NIPPON ANIMATION CO.,LTD.

話題騒然！「アニメージュ」への連載から始まった「風の谷のナウシカ」。そして、「スタジオジブリ」の誕生に迫った本展。

# 2022年春、ついに九州初上陸！

初公開となる貴重な資料やセル画など、立体造形物を含む、約200点以上で構成！  
本展のために制作された激レアなオリジナルグッズが多数登場！

## アンバサダー&音声ガイド・ナビゲーターはナウシカ役 声優・島本須美さん

本展アンバサダー&音声ガイドナビゲーターは、「風の谷のナウシカ」で主人公ナウシカ役を務めた声優・島本須美さんに決定。本展覧会の監修をつとめた三鷹の森ジブリ美術館シニアアドバイザーであり、当時アニメージュ編集部の高橋望さんと展示のみどころや当時のアニメにまつわるエピソード、ウラ話のほか、ナウシカや「ルパン三世カリオストロの城」のクラリスの名ゼリフも収録しています。



profile 島本 須美 Sumi Shimamoto

声優、ナレーター。映画「風の谷のナウシカ」の主人公ナウシカ役のほか、アニメや洋画の吹き替えなど多くの作品でヒロイン役や清純な少女の声を担当。特に宮崎駿氏関連の作品には多く出演しており、「ルパン三世カリオストロの城」でのクラリス役、「となりのトトロ」の姉妹サツキとメイの母親役、「もののけ姫」のトキ役などで活躍。他にも、「めぞん一刻」(音無響子役)、「それいけアンパンマン」(しょくばんまん役)、「名探偵コナン」(「らき☆すた」)など、幅広い作品に出演している。

**早割ペアチケット**  
2,000円(2枚綴り)  
※2,000枚限定発売

**ローソンチケット独占発売**  
Lコード: 84362

▶発売期間 ※無くなり次第発売終了  
2022年1月21日(金)~3月5日(土)迄

- 1人で2回(別日)でも使用可能
- 本展会期中であれば「平日」、「土日祝」ともに使用可能

**観覧料 チケット発売情報**

[一般] 平日 1,300円、土日祝 1,500円  
[中高生] 平日 800円、土日祝 1,000円  
[小学生] 平日 600円、土日祝 800円

▶ ロソンチケット [Lコード: 84362]  
▶ チケットぴあ [Pコード: 685-925]  
▶ イープラス [eplus.jp] ▶ セブンチケット [7ticket.jp]  
▶ ARTNE チケットオンライン [https://artne.jp/tickets]

※[中高生]料金でご入場の際、学生証や生徒手帳等のご提示が必要となります。  
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名、および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者、および未就学児は観覧無料

※新型コロナウイルス感染拡大の状況や政府および自治体の方針によって、急きょ会期変更や休止・中止をする場合があります。

ご来場のお客様へ  
・マスク着用のうえご来場ください。会場内混雑の際は、入場制限を行う場合があります。  
・発熱などの風邪症状がある場合はご入館いただけません。

**福岡アジア美術館**  
Fukuoka Asian Art Museum

**7階 企画ギャラリー A・B・C**  
(福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階)

**交通アクセス**

- 地下鉄  
中洲川端駅下車、6番出口より徒歩すぐ  
▶ [福岡空港から]福岡空港駅より9分  
▶ [JR博多駅から]博多駅より3分  
▶ [西鉄福岡(天神)駅から]天神駅より1分
- 西鉄バス  
川端町・博多座前バス停下車、徒歩すぐ
- 車  
[太宰府方面から]都市高速千代ランプより車で約7分  
[北九州方面から]都市高速呉服町ランプより車で約5分  
【駐車場】リバレインセンタービル地下4階(有料)  
※朝通和より、博多リバレイン地下の駐車場(有料)をご利用ください。

